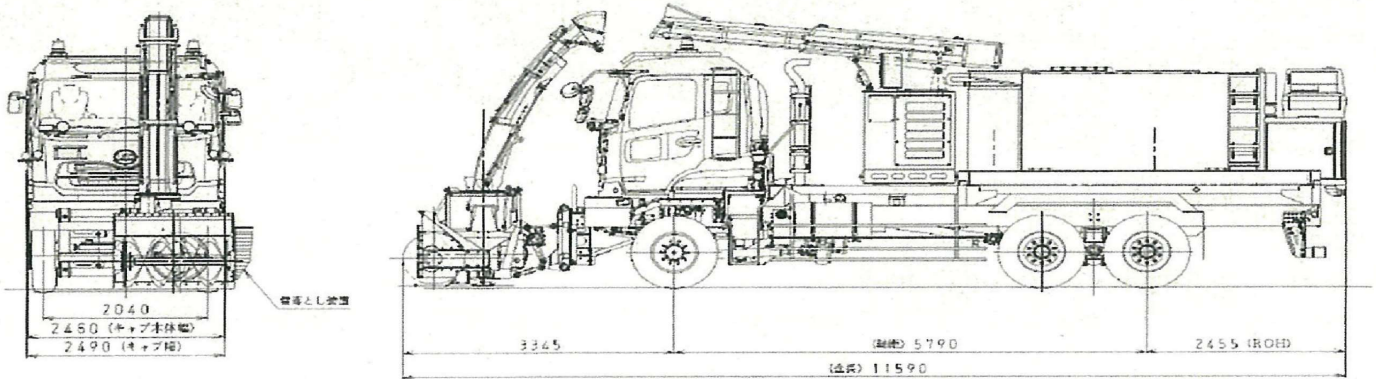


出展技術概要書

技術名称	トラック式ロータリー除雪・融雪車	担当部署	関東支社 佐久管理事務所
社名	東日本高速道路株式会社	担当者	神田
住所	長野県佐久市岩村田116	電話番号	0267-68-8861
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>東京外環自動車道は殆どが橋梁高架区間であり、かつ環境対策から両側に遮音壁が設置されています。過年度南岸低気圧により首都圏が大雪に見舞われた際、降雪から降雨に変わり路肩の残雪が通水を阻害を起し、路面冠水が至るところで発生し通行止め解除が遅れたことと、排雪作業が未だ人力に頼っていること等から、機械式による早期除雪の必要性が急務となりました。</p> <p>他の現場で、トラック式ロータリー除雪車と融雪車との組み合わせにより、投雪困難区間を除雪していることにヒントを得て、作業の効率性という課題を克服するため、今回除雪車と融雪車の一体化を図りました。</p> <p>なお、本機は東京外環自動車道用に開発したものでありますが、首都圏南岸低気圧以外は重雪氷地域である長野(佐久)にて活用を図ることにしております。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>高速道路における除雪作業の際、路肩や遮音壁の日陰部分などは雪が残ってしまいます。</p> <p>トラック式ロータリー除雪・融雪車は、トラック前方の小型ロータリーを左右にスライドさせて路肩内(2.5m)の残雪を効率的に除去することが可能です。更に、除雪した雪をトラック荷台に搭載した融雪機で融かす(温水循環方式)機能を有しており、投雪の出来ない区間等では路外に雪を飛ばさず、かつ運搬排雪も必要が無くなりました。</p>		
	3. 技術の効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー除雪装置が進行方向左側へスライドし、路側帯・路肩など雪が溜まる箇所を効果的に除雪が可能です。 ・掻き込んだ雪をトラックの荷台まで送り込み融かすので、路外へ雪を運搬する必要がありません。 			
4. 技術の適用範囲			
高速道路本線及び休憩施設内の除雪作業			

5. 写真・図・表



NR70U 仕様(荷台 (株)大仁:狭小融雪装置 SP-180DX-J 搭載)

性能	最大除雪量	15t/h 以上
	最大除雪幅	1.50 m
	最大除雪高	1.11 m
	投雪距離	後方スライダー装置まで
	作業速度	0.1km/h 以上
諸元	全長	11.550 mm (冬姿回送時)
	全幅	2.490 m (冬姿回送時)
	全高	3.745 m (冬姿回送時)
	総質量	21,250 kg (乗車定員 2 人含む)
	乗車定員	2 名

車体	車名	UDトラックス
	型式	2DG-CZ5BL 改
除雪装置	形式	ツーステージ形スノーブロー
	ブロウ	回転式 速度可変型
	シュート	旋回 270° 投雪角 125° 可変形
	スライダー装置	油圧伸縮・格納式
除雪装置機関	名称	DEUTZ TD2.9L4 形
	形式	サイクル直列水冷直噴式過給器付
	排気量	2.925 L
	定格出力	55.4 kw